

問1 大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」に代表される、5世紀ごろに築かれた巨大な前方後円墳についての説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである
2. 鎌倉幕府の将軍が自らの権威を示すために仏教の教えに基づいて建立したものである
3. 律令国家の成立後に、地方を治めるために任命された国司の墓として造られたものである
4. 北条氏が執権としての地位を確立するために、各地の武士に命じて造らせたものである

問2 4世紀から5世紀にかけての古墳時代、大陸から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられた、青灰色で非常に硬い土器の名称を答えなさい。（2023年 高知公立入試 類似）

1. 縄文土器
2. 弥生土器
3. 須恵器
4. 土師器

問3 古墳時代において、特定の地域に限定されず、全国各地で大規模な前方後円墳が築造されたという事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。（2018年 大分県公立入試 類似）

1. 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。
2. 各地の豪族が、大陸から伝わった最新の墓制を競い合うようにして独自に導入したこと。
3. 仏教の影響が全国に及び、共通の儀礼に基づいた埋葬方法が庶民にまで普及したこと。
4. 狩猟・採集中心の社会から、稲作を中心とする平等な共同体へと社会が変化したこと。

問4 古墳時代に見られる、上から見ると鍵穴のような形（一方が四角く、一方が丸い）をした古墳の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である
2. 弥生時代に中国大陸から伝わった形式であり、主に北九州地方で多く見られる
3. 聖徳太子による冠位十二階の制定と同時に、身分を示す墓として推奨された
4. 鎌倉時代に幕府の許可を得た武士のみが、自分の領地に築くことができた

問5 古墳時代における渡来人の活動と、日本社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれかを選びなさい。（2021年 和歌山公立入試 類似）

1. 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。
2. 九州北部の防衛のために東国から派遣され、唐や新羅による侵攻に備えて沿岸を警備した。
3. 中国の優れた制度や文化を吸収するために日本から派遣され、小野妹子らがその代表である。
4. 平安時代に地方の政治が乱れる中、自らの土地を守るために武装し、後の武士の源流となった。

問6 航空写真などの上空からの視点で見ると、前方部が方形（四角形）、後方が円形をしており、全体として巨大な鍵穴のような形状をしている日本独自の古墳の名称として適切なものはどれか。（2020年 佐賀公立入試 類似）

1. 前方後円墳
2. 円墳
3. 方墳
4. 八角墳

問7 大阪府堺市に位置し、三重の堀に囲まれた巨大な鍵穴のような形状を持つ、日本最大級の面積を誇る古墳の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 大仙（大仙陵）古墳
2. 稲荷山古墳
3. 江田船山古墳
4. 高松塚古墳

問8 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 高句麗・百済・新羅
2. 魏・呉・蜀
3. 隋・唐・宋
4. 渤海・高麗・新羅

問9 3世紀ごろ、倭の女王である卑弥呼が使いを送った中国の国と、当時その国と勢力を争っていた国の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2016年 和歌山公立入試 類似）

1. 魏 — 呉・蜀
2. 秦 — 楚・齊
3. 隋 — 陳・北周
4. 唐 — 吐蕃・新羅

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大和政権の最高権力者である大王（おおきみ）の強大な権力を示すものである	「百舌鳥・古市古墳群」に含まれる大山古墳（伝仁徳天皇陵）のような巨大な古墳の造営には、膨大な数の労働者と高度な土木技術、そしてそれらを統制する強力な組織力が必要でした。これは大和政権の最高権力者である「大王」が、広範囲にわたる豪族や民衆を支配下に置いていたことを証明する歴史的背景を持っています。
問2	答え 3 須恵器	古墳時代になると、朝鮮半島などから移住した渡来人によって、新しい技術や文化がもたらされました。その一つである須恵器は、それまでの弥生土器などが野焼き（低温）で焼かれていたのに対し、斜面を利用した「登り窯」を用いて1000度以上の高温で焼成されました。この技術革新により、実用的で堅牢な土器の生産が可能となりました。
問3	答え 1 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。	前方後円墳という日本独自の特定の形式が列島の広い範囲に普及したことは、それらの地域が「大和政権」を中心とする政治秩序の中に組み込まれていたことを意味します。共通の墓の形を採用することは、大和の王との結びつきを周囲に示す重要な手段でもありました。
問4	答え 1 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である	前方後円墳は3世紀後半から造られ始め、大和政権（ヤマト王権）の拡大とともに全国へ普及しました。大阪府にある大山古墳（伝・仁徳天皇陵）のように世界最大級の規模を持つものもあり、これは当時の王の権力の強大さを物語っています。
問5	答え 1 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。	当時の日本にはなかった高度な知識や技術を持っていた人々に関する記述です。彼らが伝えた「須恵器」は、従来の土師器よりも高温で焼かれた硬い陶質土器であり、生活様式の変化をもたらしました。また、文字（漢字）の導入により、行政や外交などの記録が可能になり、大和政権の組織化が促進されました。
問6	答え 1 前方後円墳	3世紀後半から6世紀にかけて、ヤマト政権の勢力下にあった地域で築かれた日本独自の形式です。大阪府の大仙古墳（伝仁徳天皇陵）に代表されるように、大規模なものは当時の有力者の権力を象徴しています。
問7	答え 1 大仙（大仙陵）古墳	堺市にあるこの古墳は、仁徳天皇の墓とも伝えられている日本最大の前方後円墳です。三重の堀に囲まれたその巨大な規模は、当時の大王（おおきみ）が持っていた強大な権力を物語っています。
問8	答え 1 高句麗・百済・新羅	朝鮮半島では、北部の高句麗、南西部の百済、南東部の新羅の3校が対立し、抗争を繰り返していました。この情勢は当時の日本（倭）の外交や技術導入にも大きな影響を与え、日本は主に百済や加羅（加耶）の地域と結びついて行動していました。
問9	答え 1 魏—— 呉・蜀	卑弥呼が使いを送った相手は、中国大陸の北部に位置した「魏」という国です。当時の中国大陸は、北部の魏、南東部の呉、南西部の蜀の三つの勢力が争っており、この複雑な国際情勢の中で、邪馬台国は魏との外交関係を築くことで自国の立場を安定させようとしていました。